

湯川だより



第10号 2013/10/25
発行：御代田町 町民課

～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター整備に向けて～

現況調査『植物・昆虫類・魚類等 夏季調査』速報

今号では、前号(第9号)でお伝えしきれなかった、新クリーンセンター環境影響評価の現況調査『植物・昆虫類・魚類等 夏季調査』の速報を皆さまにお伝えします。



▲ヤマユリ

調査範囲では、初夏から夏にかけて桃色の花をつけるシモツケや紫色の花が特徴的なカワミドリなども確認されています。

調査範囲は、山や川、沢、草地など特徴的な環境が含まれていることから、それぞれの環境を好む植物が多く生息しています。

また、9月30日から10月2日まで、植物の秋季調査が実施され、現在、確認作業が進められています。

【植物】

8月5日から7日にかけて夏季の植物調査が実施され、現時点で一般種及び重要種を含め441種が確認されています。

御代田町の町花ヤマユリもこの夏季調査で20個体以上が確認されました。

ヤマユリは、店頭や民家の庭先、公園などでもよく目にする初夏から夏にかけて満開となる花ですが、野生のものは数も少なく、長野県の指定希少野生植物に指定されています。

▼シモツケ



▲イチヤクソウ
1/2



▲カワミドリ



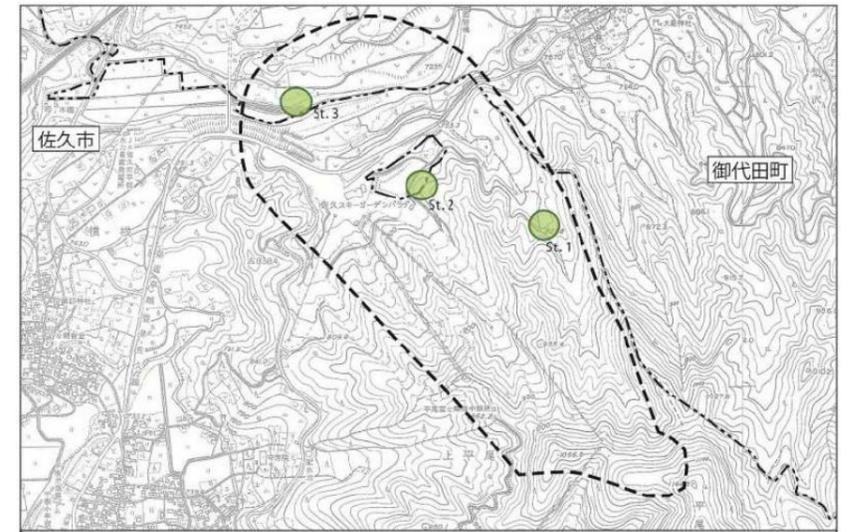
▲ナガミノツルクケマン

【昆虫類】

初夏の調査に引き続き、7月28日から29日に夏季の昆虫類調査が実施されました。

一般種及び重要種を含め、初夏及び夏季調査では、410種の昆虫類が確認されています。

夜間に白いカーテンにライトを当て、そこに集まる昆虫を確認する『ライトトラップ』や仕掛けた餌に寄ってくる昆虫を確認する『ベイトトラップ』等の調査により個体の採取及び確認を行いました。



----- 動植物調査範囲 ●トラップ設置箇所

夏季調査では、ヘイケボタルやオオムラサキ、ヒメシジミなどが確認されており、多くの昆虫類が、私達の身近な生活圏で共存していることがわかりました。



▲ヘイケボタル



▲オオムラサキ ♀

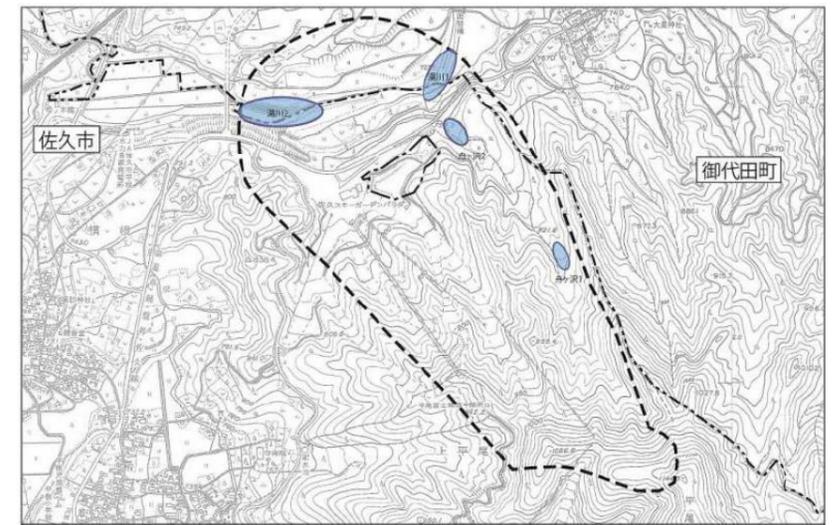


▲ヒメシジミ ♂

【魚類等】

7月31日から8月1日にかけて、夏季の魚類調査が実施され、一般種及び重要種を含め、春季調査で確認された種と同じ、コイ、アブラハヤ、ウグイ、ドジョウなど、6種の身近な淡水魚が調査範囲で確認されました。

また、陸・淡水産貝類の調査も実施され、淡水産貝類は、4月1日の早春季調査、5月26日、29日の春季調査に引き続き、7月25日に夏季調査が実施されました。



----- 動植物調査範囲 ●魚類調査箇所

陸産貝類は、5月26日、29日の春季調査に引き続き、6月26日、27日に夏季調査が実施されました。これまで陸・淡水産貝類調査では、一般種及び重要種を含め20種が確認されています。



▲アブラハヤ



▲ウグイ



▲シマドジョウ



▲カワナ



環境影響評価『現況調査中間報告会』を開催します



▲現況調査の様子

新クリーンセンター整備に係る環境影響評価は、昨年7月の方法書の公告・縦覧以後、今年1月から始まった約1年間に及ぶ現況調査が、現在、建設候補地周辺で進められています。

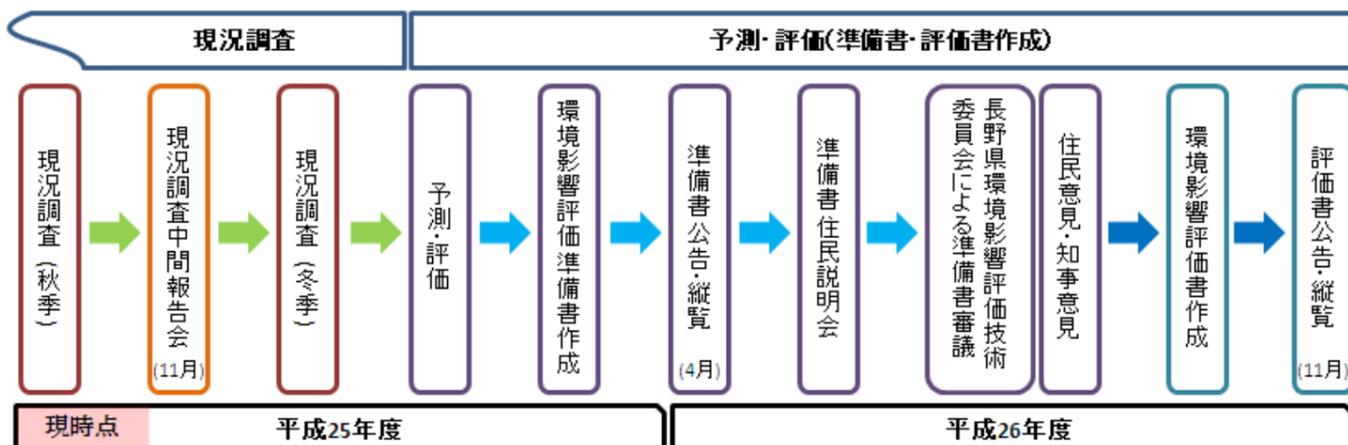
今回、佐久市と御代田町の各会場で、9月までの調査結果について取りまとめた『現況調査中間報告会』を開催いたします。

報告会では、大気質や気象、水質、動植物など、これまで実施されてきた現況調査について、写真やグラフなどを用いてわかりやすく説明いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

◆ 現況調査中間報告会 開催日程 (ご自身の地区以外の会場にご参加いただくことも可能です)

開催日時	会場	対象地区
11月21日(木) 19時から	J A 佐久浅間伍賀支所 2階会議室	伍賀地区
11月27日(水) 19時から	エコールみよた あつもりホール	御代田・小沼地区

◆ 環境影響評価 今後のスケジュール



新クリーンセンター建設候補地にて測量業務を実施中



▲測量の様子

佐久市では、新クリーンセンター整備に係る施設計画を立てるために、敷地造成及び進入道路の設計作業を進めています。

現在、進入道路整備に係る路線測量及び用地測量の現地作業が平成25年10月8日(火)から12月27日(金)にかけて建設候補地周辺で行われています。

関係する土地所有者の皆さま、近隣にお住まいの皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

- 業務期間 平成26年3月20日(木)まで
- 受託業者 (株)日研コンサル(佐久市)

ちょっとそこまで

アサギマルシェ@面替 & アサギマダラ観察会



初秋の9月22日、面替区の大星神社境内広場を会場に、『大星・アサギマダラの会』主催により『第1回アサギマルシェ@面替&アサギマダラ観察会』が開催されました。

昨年の湯川だより第3号(平成24年9月25日発行)でも面替区へのアサギマダラの飛来を皆さまにお伝えしましたが、アサギマダラは2000kmを旅する『海を渡る蝶』として有名です。面替区では、『大星・アサギマダラの会』の皆さまを中心に区内の遊休農地を整備し、フジバカマやヨツバヒヨドリを植える活動を続けています。



毎年、会員の皆さまにおいてアサギマダラ観察会を開催していましたが、今年は『フリーマーケット』を開催、地元野菜や陶芸品等の出店、豚汁の無料配布の他、先着30名にアサギマダラが蜜を吸いに集まるフジバカマの切り花をプレゼントするなど、更に魅力ある内容で楽しんでいただこうと、観察会とセットで『アサギマルシェ@面替』が計画されました。

当日は天候にも恵まれ、フジバカマに留まるアサギマダラを撮ろうと、集まった人達は、羽を休める蝶にそっと近づき、熱心に撮影をしていました。午後の観察会では、アサギマダラの行動や生態を調査する一環として『マーキング』の実施や学習会などが行われました。

また、初の試みであったアサギマルシェ@面替にも多くの人が訪れ、200食を用意した豚汁がすぐに無くなるなど、大盛況だったそうです。

遠くからは安曇野、長野市等町内外から500名以上のかたが大星神社境内広場に集まり、アサギマダラの美しく優雅な姿を観察していました。『浅葱色』をしたその羽の美しさは、一見の価値ありです!!(ゆ)



編集後記



▲フジバカマとアサギマダラ

面替区に蝶を呼び、人も呼ぼうと4年前から活動を続けている大星・アサギマダラの会。アサギマダラが好んで蜜を吸うフジバカマの植生に、区内の遊休農地を耕し丁寧に草刈をするなど、日々の手入れや作業を続けています。毎年、見事に咲くフジバカマと無数に飛び交うアサギマダラ、そこに集う人々。まさに、会員の皆さま、そして地域の皆さまの努力の結晶だと思います。新クリーンセンターの整備も、一つひとつの積重ねや地域の皆さまとの繋がりが最も大切です。今後も皆さまと共に一歩ずつ歩みを進めたいと思います。

【発行】 御代田町 町民課 環境衛生係
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3111 (内線 47)

【佐久市問合せ先】 佐久市 環境部 新クリーンセンター整備推進室
佐久市中込 3056 番地 電話：0267-62-2111 (内線 297・484)